



歌川広重「東海道五拾三次 原」中山道広重美術館蔵

Exhibition Along the Tōkaidō with Kyōka

【Exhibition dates】 January 23rd (Thu) - February 24th (Mon・Substitute Holiday)

企画展

狂歌とめぐる 広重の東海道

会期
2025

1月23日(木) - 2月24日(月・振休)

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

- 毎週水曜日は観覧無料、フリーウェンズデー
〈スポンサー〉(株) エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株) デジタ
- 毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
〈スポンサー〉(株) 銀の森コーポレーション、
カネコ・楽園住宅・木KeyPoint、(株) サラダコスモ ちこり村



中山道広重美術館

Nakasendo Hiroshige Museum of Art

企画展 狂歌とめぐる広重の東海道

会期 2025 1月23日(木) - 2月24日(月・振休)

観覧料 一般520円(20名以上の団体は420円)
▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(ただし2月24日は除く)、2月12日(水)

主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

【関連イベント】

■学芸員による作品ガイド

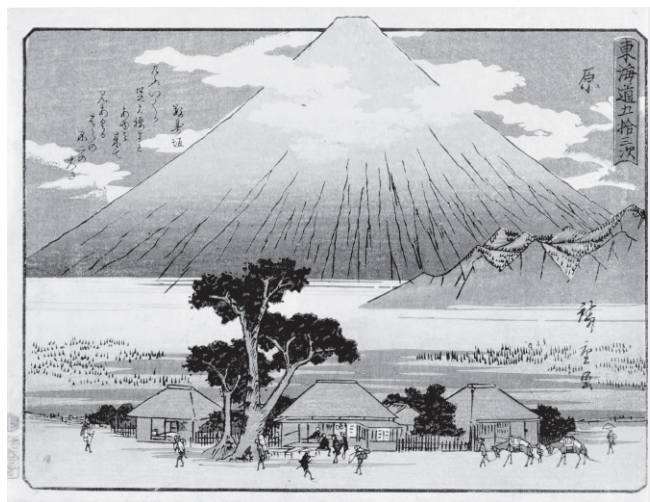
日時: 2025年2月2日(日) 午前10時30分～(30分程度)

場所: 展示室1(1F)

■美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時: 随時(要事前予約)

〈出品作品紹介〉

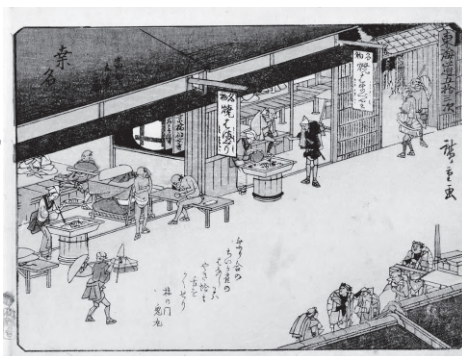


歌川広重「東海道五拾三次 原」中山道広重美術館蔵

画面枠からはみ出した山頂部が、富士山の雄大さを物語ります。原宿は、東海道中最も間近に富士山を見ることができる場所でした。画中歌は「けふいくか 足よ腰よと あゆみ来て見あぐるはらの 不二の大きさ」。足よ腰よと進んだ先で仰ぎ見た「はら」の大きさに感嘆する歌です。言わずもがな、「はら」には「腹」と「原」が掛けられています。

広重が保永堂版東海道の次に手掛けた東海道揃物「東海道五拾三次」は、画中に狂歌(和歌の形式の中に機知や滑稽を詠み込んだ文芸)が添えられていることから「狂歌入東海道」と通称されています。中判という小ぶりの判型ながら、透明感のある色彩と、余白を意識した構図の成す伸びやかな風景描写が魅力の作品です。また、画中の狂歌は宿場名や各図に描かれているモチーフと必ず何らかの関連があり、歌を読み解き、味わうこともまた、本作を鑑賞する楽しみの一つといえるでしょう。

当館で「狂歌入東海道」全56点を揃いで展示するのは、約10年ぶりとなります。当時の人々が親しんだ浮世絵と狂歌のコラボレーションを、ぜひお楽しみください。



歌川広重「東海道五拾三次 桑名」中山道広重美術館蔵

Museum Shop News

ミュージアムショップから

「蔦屋重三郎」について学べる書籍を販売!

ミュージアムショップでは、NHK大河ドラマ「べらぼう」の放送開始に合わせて、蔦屋重三郎に関する書籍を販売いたします。「蔦重」とはどんな人物か、まずはミュージアムショップに来て、本を手にとってみてください。ドラマをより深くお楽しみいただけること間違いなしです。

- ①『もっと知りたい蔦屋重三郎 錦絵黄金期の立役者』 鈴木俊幸 著 東京美術出版刊 2,200円
- ②『PenBOOKS 蔦屋重三郎とその時代。』 CCCメディアハウス刊 1,980円



①



②



③

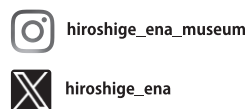


④

- ③『蔦屋重三郎と浮世絵「歌麿美人」の謎を解く』 松嶋雅人 著 NHK出版刊 1,265円
- ④『NHK大河ドラマ 歴史ハンドブック べらぼう～蔦重栄華乃夢噺』 NHK出版編 NHK出版刊 1,320円 (すべて税込)

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
*JR中央線恵那駅から直進徒歩約5分
*中央自動車道恵那インターから約5分

公式ホームページ Webミュージアムショップ



中山道広重美術館
Nakasendo Hiroshige Museum of Art